

さやまの今本

第95話

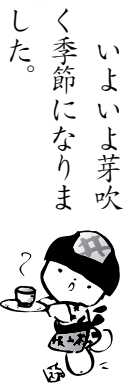
春うららの不老川



ツツツと歩き、堤を散歩する老若男女の多いこと、としとらず公園のベンチでちょっとひと休みしておられますと、学校の方から若い元気な声となつかしいコーラスが聞こえてきました。

ますます、春ののどかな一日は気持ちもポカポカ・・・。「ホタルが飛びかったべえ」「魚がとれたよ」こんな澄みきった水の流れる昔の不老川がもう目の前に近づいてきているようです。

新しくなった観音堂の屋根がピカッと光り、権現橋のお地藏さんもニコニコ笑っていました。



いよいよ芽吹く季節になりました。桜の花もちらほらとすなかに入曾の不老川堤を歩きました。やわらかい緑のじゅうたんの中、ヨモギ、タンポポ、トケノザ、オオイヌノフグリ、ナノハナと彩りもあたたかく、ほのぼのとした気持ちになります。

ゆるやかな川の流れのなか鯉が泳ぎ、カルガモ、マガモの群れが、たえまなく上・下しています。川べりをセキレイが

わかるかな？

今月の写真クイズ



写真は、今月の広報さやまの中に掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名の方に記念品をさしあげます。官製はがきで、広報課宛お送りください。

締め切り：4月30日(当日消印有効)



[3月10日号の写真クイズの答え]
9ページの入間川クリーン作戦の写真でした。

表紙の写真

3月20日に、市内の茶園のハウスで狭山新茶の初摘みが行われました。摘み手は小学生のころから茶摘みを手伝っていたという方など、ベテラン揃い。早朝からハウスの中に入り、おしゃべりに花を咲かせながら手際よく摘んでいきます。摘んだ茶葉は早速製茶し、4月29日に市役所駐車場で開催する「狭山新茶と花いっぱいまつり」で販売します。味も香りも良い狭山の新茶を、ぜひご賞味ください。



バン(ツル目クイナ科)

全長約32cm。雌雄同色。頭と頸は黒色で、背から上尾筒にかけての上面は黄緑色を帯びた暗褐色です。胸と腹・脇は灰黒色で脇には一列に並んだ白い斑点があります。下尾筒は白色で中央に黒線があります。翼と尾は黒褐色です。くちばしは赤色で先端は黄色です。くちばしより額に続く赤色の裸出した額板があります。

撮影：狭山生態系保護協会
矢内昭夫さん(水野)

日本では全国に繁殖分布していますが、北海道・本州中部以北では夏鳥です。平地から山地までの湖沼・河川の水辺や水田・ハス田・湿地などに生息。単独またはつがいで生活し、草の中にいることが多いですが、水面を巧みに泳ぎ、地上にもよく上がります。昆虫・貝・甲殻類・水草の茎・葉、植物の種子などを食べます。市内では入間川地域の河川敷・智光山公園の周辺などで観察されています。